

平成27年第3回定例会

9月1日から11日までの会期で開催され、平成26年度の各会計決算を中心に多岐にわたり審議が行われました。

平成26年度決算 に関する 大綱質疑

平成26年度決算案全体に対して、疑問や不明点を明らかにするため、市に説明を求めました。その中から、主なものを掲載します。

封筒への広告掲載

問 鳥獣被害対策の視察研修で大田原市に行った際に、いただいた封筒の裏側に一面全部広告が入っていた。桜川市の封筒には広告が入っていないと思うが、採用したらどうか。
答 茨城県内でも水戸市・那珂市・笠間市の3市が同様の広告が入った封筒を使用しています。全額広告会社の方からの寄附ですので、大変経費削減になると思います。桜川市でも検討

職員研修の内容

問 職員研修の中に、「議会対応能力向上講座」「住民満足度向上講座」とあるが、どのような研修なのか。
答 「議会対応能力講座」には、3名の職員を派遣し、議会の役割並びに法的な位置づけ及び議会と執行機関の関係など制度面や答弁作成前の留意点、わかりやすい答弁書の作成のポイント、答弁する際の留意点などの議員との対応面について研修をしています。「住民満足度向上講座」については、3名の職員を派遣し、市民ニーズに合った施策立案や市民の皆様が

平成26年度

決算認定

徹底検証！市税の使い道

満足する対応について研修するなど、市民サービスの向上を図るものです。

放射線測定事業の状況

問 放射線測定事業は、東日本大震災から4年半経過し関心も薄れているが、現在の実績と結果は。
答 放射性物質の検査は、2つの給食センター・保育園・保育所と一般という区分けで検査を実施しています。平成24年度は検査件数が775件、うち41件が基準を超え、平成25年度は839件、うち19件が基準を超えています。平成26年度は830件のうち21件が基準を超えています。総体的に言えることは、学校給食

センター・保育園・保育所に関しては、1件も基準超えは出ていません。

防犯カメラの設置状況と効果

問 市が設置した防犯カメラの設置状況とその威力、効果を発揮した事例があるか。
答 平成24年度から26年度の3年間で、岩瀬駅・羽黒駅・大和駅に防犯カメラを設置しました。設置効果については、平成24年度、岩瀬駅に設置されていないときには市内で34件の自転車



岩瀬駅に設置されている防犯カメラ

の盗難がありました。設置後は、25年度で27件、26年度で25件と年々減少していますので、ある程度効果が出ていないかかと推察しているところです。

医療福祉事業費の審査手数料

問 医療福祉事業費の中の審査手数料の内容について伺う。
答 審査支払手数料ですが、事務費が2つあります。県補助対象分と市単独事業分です。これはマル福と言

われる制度で、その診療報酬を決定する審査の手数料です。

老人福祉施設措置費

問 老人福祉施設措置費の措置人員の内訳が7人から8人で470万円ぐらいい、事務費が約1400万円となっているが、どのような仕組みになっているのか。
答 老人福祉法第1条の規定に要する費用で、市から各養護老人ホーム施設に入所している方の費用です。内訳として、生活費が473万9870円、事務費が1442万4968円。この事務費は、養護老人ホームに入っている人件費・管理費です。1カ月平均にすると、1人当たり20万6000円ほど養護老人ホームに入所するとかかるということです。お世話をいただく介護士の方の人件費、施設の管理費ということにかかっています。

一般議案に対する 議案審議

補正予算や条例の改正、人事案件などの審議を行いました。その中から、主な質疑を掲載します。

が、マイナンバーカードについて、そのあたりの心配はどう考えるか。

答 ①住基カードとマイナンバーカードの違いですが、まず住基カードについては大きく4つの特徴があります。(1)本人確認を必要とする行政手続きのインターネットの申請が可能。(2)公的身分証明書として利用できる。(3)住民票・印鑑証明書等の自動発行。(4)転入・転出手続の特例が受けられる。などが挙げられます。

問 総務費の戸籍住民基本台帳事業149万円は、マイナンバー登録の仕事という説明だったが、①今までの住基カードとはどのように違うのか。②市では住基カードはあまり利用されなかったと聞いたが、マイナンバーカードの利用はどのようになるかと想定するか。③年金機構で情報の流失が大きな問題となっている

②マイナンバーカードについては、(1)～(3)については同じですが、転入転出については国の指針がまだ届いていません。今後社会保障関係の手續・年金資格の取得・税関係の確定申告の提出が含まれ、さらに改正マイナンバー法では銀行口座を結びつけるということまで整備されていき、半強制的になるのではと考えます。

平成26年度決算額 (万円未満切り捨て)

一般会計

歳入 185億3,606万円
歳出 164億1,228万円

特別会計

| | | | | |
|----------|----|------------|----|------------|
| 国民健康保険 | 歳入 | 60億6,472万円 | 歳出 | 56億8,666万円 |
| 農業集落排水事業 | 歳入 | 4億2,195万円 | 歳出 | 4億540万円 |
| 公共下水道事業 | 歳入 | 7億4,023万円 | 歳出 | 7億2,753万円 |
| 介護保険 | 歳入 | 37億8,099万円 | 歳出 | 35億8,399万円 |
| 介護サービス事業 | 歳入 | 1,270万円 | 歳出 | 728万円 |
| 後期高齢者医療 | 歳入 | 3億5,102万円 | 歳出 | 3億4,901万円 |

水道事業会計

| | | | |
|-------|------------|-------|-----------|
| 収益的収入 | 10億2,083万円 | 収益的支出 | 9億8,488万円 |
| 資本的収入 | 2億2,061万円 | 資本的支出 | 4億2,129万円 |